



いちご組 (0歳児)

暑さが和らぎのびのびと外で遊ぶことが出来た一カ月。気がつけば、それぞれの発達段階において様々な体の力や動かし方が身についていることに驚かされました。月齢の早い友達、ローラー滑り台の登り降りはおもとより、降り口から上まで登り切り、この前まで伝い歩きをしていた友達は、バランスをとりながら園庭を力強く歩き廻っていて…。どの姿も目を見張るものがあります。大小様々な段差では、手をつく、座る、後ろ向きになるなど、上手に体の向きを変えながら慎重に上り下り。ハラハラすることもあります。大切な子ども達が大きな怪我をしないためにもその様な生の体験をたくさん積み重ね、自ら自分の体を守る術を体得して欲しいと思います。「必要な時期に必要な体験を」今月も積極的に外に出て体をたくさん動かして遊んでいきたいと思ひます。(武井)

新しいお友達 りんとくん



さくら組 (1歳児)

暑さも落ち着き、日中も過ごしやすく、園庭遊び、散歩日和の陽気になりましたね。散歩に出かけることも多く、散歩車に乗らず、たくさん歩けるようになりました。農道の草が背たけ程ある道も草をかき分け必死に歩いている姿に逞しさを感じます。足腰がとてもしっかりしてきました。時々、「だっこして～」と抱っこを求めてくる子もいますが、抱っこをしてもらおうと安心し、「あっ、バツいたよ。あっ、カエル」の声に近寄って見ると気分が変わり歩き出す子どもたちです。

さて、先日はさくら組になって初めて古墳に行つて来ました。散歩車に乗つての散歩に嬉しそうな子どもたち。道行く人に「こんにちは～」と子どもたちから挨拶している姿が見られ誇らしく頼もしかったです。古墳では、稲荷山を登り、ひと回り散策してきました。秋の自然に触れ気持ち良く歩くことができ楽しめました。また、散歩に行き遊んで来たいと思ひます (野本)



ちゅうりっぷ組 (2歳児)

10月になり、気持ちの良い気候に変わり毎日が絶好の散歩日和でしたね。日中は散歩に出て農道を歩き、田んぼで稲刈りをする耕運機を間近で見たり、イナゴやキリギリス等、秋特有の虫に出会えたり、どんぐりをたくさん拾って笑顔で見せあつたりと発見の連続でした。下旬にはパクパク祭りがあり、もも、ばら、ゆり組のお兄さんお姉さん達の遊戯を楽しく見せてもらい、喜んで手拍子を打ったり、真似をして体を動かしていました。その後、みかん狩りにも参加し、本物のみかんを貰い、給食の時間においしくいただきました。

以前よりも、クラス全体でトイレに行く回数が増え、みんな座っておしっこが出来ようになってきました。布パンツを履いている子を見て「わたしはく！」と刺激を受けて張り切ってトイレに行く子も増えてきています。このまま続けていき、少しずつトイレトレーニングをしていきたいと思ひます。

新しいお友達 りりあちゃん (石井)



もも組 (3歳児)

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり晩秋の気候が感じられるようになりました。先日の運動会ではご協力ありがとうございました。子ども達も頑張っている姿を見てもらい、特に一緒にできたロボちゃんの競技は嬉しかったようですね。次は12月のかがやき発表会です。劇の配役は自分たちで「〇〇色の〇〇がいい！」と好きな色とその色を連想した食べ物や、なりたいたいのを決めました。一人ひとりがしっかりと自分のやりたい役のイメージができていて感心しました。これから皆で絵本の中に入り込んで楽しく表現遊びを楽しみたいと思ひます。最近のもも組のブームは、「すうじのうた」です。1から3、4から6と毎日少しずつ歌の歌詞を増やしていくと、あっという間に10まで覚えることができました。数字にも興味がわき、朝の会での日付確認や時計の針などにもすうじのうたの歌詞を重ね合わせて覚えています。学びたい時に学べる環境を積極的に取り入れていきたいと思ひます。(月足)



ばら組 (4歳児)

朝晩は肌寒い日が増えてきましたが日中は暖かい日が多く園庭遊びや散歩で身体を沢山動かして子ども達も嬉しそうです。運動会という大きな行事を乗り越えすっかりお兄さんお姉さんの顔付きです。当番活動もすっかり板に付き保育士が伝えなくても当番表を確認して積極的に参加しています。気づいていない友だちには優しく教えている姿も見られこの半年で大きく成長したように感じます。

先日のぱくぱく祭りでは人参とネギを切つた子ども達。楽しみにしていた子も多く手紙が出てからほとんど毎日「ぱくぱく祭りはまだ？」と聞いていたのですよ。当日は「エプロン持ってきた！」「もう着ける？」とワクワクした顔でした。包丁で切る時には緊張している様子も見られましたが保育士のお話を聞き丁寧に切っていました。食べる際には「人参あつた！」「ネギある！」と嬉しそうに食べており良い思い出になったと思ひます。(五味)



ゆり組 (5歳児)

運動会では最後まで頑張つた子ども達の姿は立派でしたね。何よりも「楽しかった！」と笑顔だったのが印象的でした。保護者の方に頑張っている姿を見てもらうのは本当に嬉しい経験です。大きな行事を終え一人ひとりの表情に自信がついたように思ひます。生活の中でも自分の意見ばかりを主張していた子ども達でしたが相手の意見に耳をかし、受け入れられることが増えてきました。喧嘩が減つたわけではなく解決の方法を子ども達なりに見つけ、自分たちで気持ちに折り合いをつけられることが増えてきたのです。心が成長する上で喧嘩ができる相手がいることは幸せなことですね。鬼ごっこが好きな子ども達の最近の流行りは「警察鬼ごっこ」です。鬼を決めても、やりたくない泣く子がいたり自分の都合でルールを変えようとする子もいます。見ていて微笑ましいのですがルールを守つてこそ楽しいということを引き続き伝えながら楽しんでいきたいと思ひます。(滋野)